

「血小板血症における偽性高カリウム血症への院内対応とその検証」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検査結果および診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、検査結果やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022 年 12 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、臨床的に偽性高カリウム血症が疑われた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

高カリウム血症は、患者さんの予後を左右し、速やかな治療が必要となることから、その鑑別は重要です。しかしながら、この高カリウム血症は、血小板数が多い患者さんでも生じることが知られています。この現象のことを偽性高カリウム血症とよび、本当に治療が必要な高カリウム血症と区別されています。これまで、当院では偽性高カリウム血症の可能性を臨床検査技師が疑った場合、速やかに担当医師に報告するとともに、異なる方法での再検査を依頼する運用を取り入れており、正しい診断ができるようにサポートしてまいりました。

本研究では、上記運用の有用性を検証するとともに、当院における血小板数と偽性高 K 血症の関連性について解析することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2023 年 12 月 18 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では、患者さんの診療録および検査結果を調査し、年齢、性別、病歴、基礎疾患、治療薬および治療後経過、最終診断名、各種検査結果 [血清/血漿カリウム値、白血球数(分画を含む)、血小板数、赤血球数、血清クレアチニン/BUN] について調査します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院中央検査部において、研究責任者である北川裕太郎が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

対象は 2022 年 12 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日の期間に当院を受診し、臨床的に偽性高カリウム血症が疑われた患者さんを対象とし、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 中央検査部 北川 裕太朗（研究責任者）

同	武内 信一
同	松岡 優
同	三志奈 賢司
同	庄司 朋子
同	深田 愛
同	高田 友仁
同	内田 早耶
同	宮内 楓
同	石居 郁人
同	前田 卓哉

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 中央検査部 前田卓哉

住所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 3 8

電話：049-276-1175（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：t_maedaATsaitama-med.ac.jp（“AT”を@に置き換えください）

○研究課題名：「血小板血症における偽性高カリウム血症への院内対応とその検証」

○研究代表者：埼玉医科大学病院 中央検査部 北川 裕太朗